

# 事務事業説明シート

事業No. 1

①事務事業名	元気・安心・地域づくり事業（地域プロジェクト事業）								
②所管課	総合戦略局 コンパクトシティ・共生型包括ケア推進グループ								
③ 施策の背景	事業の背景・目的	各地域の特性に応じた自主的な魅力ある地域づくりを進めるため、地域の課題解決及び活性化に資する取組で、かつ、地域の新たな魅力創出など地域資源を活かすため、地域計画における重点事業を支援する。							
	受益者	地域住民							
	目標 <small>（アウトカム目標）</small>	目 標	地域プロジェクト事業採択数 10件			達成期限	平成30年度末		
	計画	後期実行計画		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略		○		
④ 事業説明	事業の概要	各地域の特性に応じた魅力ある地域づくりを進めるため、地域の課題解決及び活性化を目的に、地域資源を活かして新たに自主的に活動する地域団体に、助成金を交付する。							
	事業内容 <small>（具体的な手段・手法・業務）</small>	<p>地域課題解決や活性化、新たな魅力創出を行う地域団体への助成金の交付（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船木校区中期ビジョン（地域計画）4大テーマの施策展開  <small>（実施団体） 船木校区コミュニティ推進協議会</small>  <small>（実施内容） ①安心・安全強化 ②高齢者見守り強化 ③子育て支援強化 ④歴史ある船木にふさわしい新規行事の創出</small>  <small>（交付額） 200,000円</small></li> <li>・ 小野和紙づくり活性化&amp;継承事業  <small>（実施団体） 小野校区コミュニティ推進協議会</small>  <small>（実施内容） 用途の幅を広げた和紙商品づくり。                      年齢層、人数、目的に応じた体験メニューの考案。                      地域文化の伝承を目指して、後継者の育成を図る。</small>  <small>（交付額） 200,000円</small></li> <li>・ 事業主体のダウンサイジング化によるかみうべ再生プロジェクト  <small>（実施団体） 上宇部校区自治会連合会</small>  <small>（実施内容） 地域活動における「地域デビュー」のきっかけづくりと、幅広い世代の参加促進。</small>  <small>（交付額） 200,000円</small></li> </ul> <p style="text-align: right;">別紙参照</p>							
⑤ 投入資源	事業費・人件費	事業費				人的資源（参考：正規職員1人/年≒804万円/年）			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		7,400千円	1,976千円	1,099千円	2,000千円	正規0.18人/年 嘱託0.18人/年	正規0.36人/年 嘱託0.24人/年	正規0.12人/年 嘱託0.18人/年	正規0.48人/年 嘱託0.12人/年
⑥ 事業効果	アウトプット <small>（活動実績）：事業の実績を定量的に把握</small>	アウトプット（活動実績）				アウトカム（活動成果）			
		指標：補助金の交付				指標：補助金の交付			
	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	
アウトカム <small>（活動成果）：事業によりもたらされる効果を定量的に把握</small>	6件	10件	5件	10件	6件	10件	5件	10件	

⑦ 自己点検結果	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
	A-1.事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか	A-2.民間団体等にゆだねることができないか (○:行政が行うべき、△:一部民間、×:民間で行うべき)	A-3.背景・目的・目標の達成手段として必要かつ適切な事業か	B-1.事業内容は背景・目的に即したものであるか	B-2.活動実績は活動成果に大きく貢献するものとなっているか	B-3.活動成果は目標達成に向け、計画どおり推移しているか	C-1.投資源に見合ったアウトプットを生み出しているか	C-2.事業手法について、考えられる他の手法より、高効率または低コストか	C-3.その他、コスト削減や効率化に向けて適切に取り組んでいるか
	A-1 ○	A-2 ○	A-3 ○	B-1 ○	B-2 ○	B-3 △	C-1 ○	C-2 ○	C-3 ○
	評価基準								
A 必要性			B 有効性			C 効率性			
A-1 ○ 十分できている △ 一部できている × (あまり) できていない — 事業に該当しない評価項目 A-2 ○ 行政が行うべき事業である △ 一部民間にゆだねることができる × (基本的に) 民間にゆだねることができる A-3 ○ 必要かつ適切な業務である △ 必要ではあるが、事業の代替を検討すべき × 必ずしも必要とはいえない — 事業に該当しない評価項目			B-1 ○ 十分即している △ 一部即している × (あまり) 即していない — 事業に該当しない評価項目 B-2 ○ 実績は成果に大きく貢献する △ 貢献する × 若干貢献する、または(あまり)貢献しない — 事業に該当しない評価項目 B-3 ○ 計画どおり(計画値の100%以上) △ ほぼ計画どおり(計画値の80%~99%) × 計画どおりとは言えない(計画値の80%未満) — 事業に該当しない評価項目			C-1 ○ コストパフォーマンスは高い △ コストパフォーマンスは若干低い × コストパフォーマンスが低い — 事業に該当しない評価項目 C-2 ○ 他の手法より、高効率・低コスト(たぶん)高効率・低コスト × 高効率・低コストと言えない — 事業に該当しない評価項目 C-3 ○ 定期的にコスト削減・効率化に取り組んでいる △ 過去に取り組んだことがある × 取り組んだことはない			
見直しの方向性		より効率的・効果的な事業実施を目指して継続							
⑧ これからの見直し		助成金を活用する団体の裾野を広げるため、事業内容や募集方法、採択方法等を見直します。							

地域プロジェクト事業（8団体）

別紙

申請校区	申請団体	事業名	実施内容	内定額
1	船木	船木校区コミュニティ推進協議会	船木校区中期ビジョン(地域計画)4大テーマの施策展開	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>①安心・安全強化 エリア毎の防災訓練の実施。宇部市総合防災訓練への参加。</li> <li>②高齢者の見守り強化 見守りネットワークの更なる強化、健康づくりプランの推進、有償ボランティア推進リーダーの募集</li> <li>③子育て支援強化 プール監視支援、学校清掃作業、ベルマーク分別支援</li> <li>④歴史ある船木にふさわしい新規行事の創出 「千利尼の石畳」の整備、「船木そば」を中心とした新規行事の創出に繋がる活動</li> </ul>	
2	小野	小野校区コミュニティ推進協議会	小野和紙づくり活性化&継承事業	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○単なる和紙ではなく、用途の幅を広げた和紙商品づくりに取り組む</li> <li>○年齢層、人数、目的に応じた体験メニューを複数考案</li> <li>○小野校区を超えた範囲での地域文化を伝承を目指して、後継者の育成を図る</li> </ul>	
3	上宇部	上宇部校区自治会連合会	「事業主体のダウンサイジング化によるかみうべ再生プロジェクト」	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>①校区団体が共同して企画したイベントのを立ち上げ、「地域デビュー」のきっかけづくりとする ・「ブラかみうべ」の実施 ・「地域講座」の実施 ・「地域まつり」の実施</li> <li>②「地域づくり研修会」の開催</li> <li>③スマホ対応のHPのバージョンアップ更新及び「広報活動委員会」の強化・再編</li> </ul>	
4	川上	石風呂を保存する会	川上「石風呂」再生プロジェクト	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○石風呂の保存・点検、環境整備と定期的な活用ができる状態に復元</li> <li>○足場の設置、竹林の伐採・土上の竹根除去・除草作業を実施</li> <li>○その過程の中でノウハウの伝承も実施</li> <li>○中学生の体験を行い、体験記等を校区だよりに掲載し、校区住民に広く周知</li> <li>○川上校区の体験型の文化財として、校区内外にPR</li> </ul>	
5	西岐波	西岐波校区コミュニティ推進協議会	ふるさと西岐波郷土愛パワーアップ事業（多世代の交流活性化を目指し）	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源である白土海水浴場を活用し、西岐波名物とする ・「第2回白土フラダンス・フェスティバル」</li> <li>○来年制作後40周年を節目を迎える「にしきわ音頭」を活用し、多世代交流や健康増進、郷土愛の醸成に取り組む</li> </ul>	
6	新川	新川校区コミュニティ推進協議会	「新川 絆発見 ふるさとマップ」活用事業	175,650
			<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年3月に更新した「新川 絆発見 ふるさとマップ」を活用して、子どもを中心とした三世代交流として「新川 絆発見スタンプラリー」を実施</li> <li>○野外彫刻5ヶ所のスタンプポイント ○市営バスと参加者との綱引き</li> </ul>	
7	鵜の島	鵜の島校区コミュニティ推進協議会	鵜の島資料館(コミスクルーム)の開設事業	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の余裕教室を利用して、鵜の島資料館(コミスクルーム)を開設</li> <li>○地域の人々が気軽に学校に出入りしやすい環境を整え、学校を中心とした地域づくりの拠点</li> </ul>	
8	琴芝	琴芝校区コミュニティ推進協議会	琴芝校区地域人材プロジェクト	200,000
			<ul style="list-style-type: none"> <li>①有識者による講演会の実施</li> <li>②野外活動体験 ・自然野外遊び: ネイチャゲーム等 ・多世代交流事業: ふれあい農園</li> </ul>	